

要請番号 (JL61816B15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	G157 日本語教育		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

高等教育科学研究省

2) 配属機関名 (日本語)

アンタナナリボ大学

3) 任地 (マダガスカル県アンタナリボレニボイヤ郡アンタナリボ市) JICA事務所の所在地 (アンタナナリボ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

首都にある国立大学で、文学・人間科学部など7学部が設置されている。文学・人間科学部には11学科があり、約5千名が在籍している。日本語コースを受講する約70名の学生および、日本語を第二外国語として選択した約100名の英語学科の学生が日本語を学んでいる。マダガスカル人日本語教師は現在1名である。年間学習時間は、1学年あたり20時間程である。2015年10月から1名の日本語教育JVが活動している。その他、在マダガスカル日本大使館の草の根文化無償資金協力により、2016年2月に日本語コース棟が設置された。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同大学では、2015年10月にJVの派遣が始まり、2016年に日本語コース棟が完成したことに伴い、学生の日本語コースに対する期待は高まっている。前任者は、日本語指導をするとともに日本文化の紹介や、カウンターパートと一緒に時間割表や年間授業計画の作成も行っている。同コースでは学生に対して、より効果的な授業が実施できるように、日本語教師の育成、シラバスの改善、円滑な授業運営等を課題とし、今後取り組んでいきたいと考えている。これらの現状や課題を踏まえ、日本語教師JVが要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚教師と協力しながら、以下の活動を行う。

- 1.日本語コースの学生(入門から中上級、各クラス20~30名が在籍)に対し、1クラス週5回の日本語授業実施。
 - 2.日本語を第二外国語として選択している学生(入門から初級)に、文法中心の授業を実施(授業時間数は年間20時間前後)。
 - 3.授業を通じた日本文化等の紹介。
 - 4.日本語コースのシラバス・カリキュラム設定・見直し。
- ※授業数は、カリキュラムやクラス数の変更により、増加する予定がある。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、いす、日本語指導教材(みんなの日本語、日本語初歩、JLPT教材)

4) 配属先同僚及び活動対象者

文学・人間科学部長 男性 50代
英語学科長 女性 30代

日本語教師1名 男性 40代
学生約170名(今後、増加する予定)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
フランス語	その他	

【資格条件等】

[免許]：（日本語教授法）	[学歴]：（大卒） 備考：大学生対象に活動するため
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（指導経験）2年以上 備考：大学生に指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）	気温：（8～30℃位）	[電気]：（不安定）
[通信]：（インターネット可	電話可）	[水道]：（不安定）

【特記事項】

英語学科の学生に教えることがあるので、日常のコミュニケーションができる程度の英語力があると良い。